

香川県で10年ぶり。「文化×教育×地域交流」を融合させた、複合文化施設型“小劇場”
「絵本の劇場 カメレオン」が3月7日・8日 こけら落とし
しわく堂は、企画サポート、空間デザイン～実施設計、DIYサポートなどを担当



2026年4月、香川県高松市の田町商店街に小劇場「絵本の劇場 カメレオン」がオープンします。「絵本の劇場 カメレオン」は、「絵本のように想像力をひらき、カメレオンのように人や時間に合わせて姿を変える劇場」子どもから大人までが自然に足を運べる“まちの文化インフラ”を目指しており、小劇場の誕生は、県内では実に10年ぶりです。株式会社しわく堂（香川県三豊市、代表取締役 平宅正人）は、企画サポート、空間デザイン、基本設計、実施設計、工事監理、DIYサポートなどを担当しました。

運営は、県内在住の演出家・劇作家である岡田敬弘が率いる株式会社ARTFIT（香川県高松市）が行い、演劇公演が開演される「貸し劇場」、親子向け文化カフェ「絵本とブロックのあそぶカフェ」、企業・団体向け研修「職場を演じる研修」3つの顔を持つ複合型文化施設です。

事業コンセプトである絵本と演劇のもつ世界観を、演劇公演の舞台装置・大道具の作り方をヒントに、心がドキドキ・ワクワクする空間をデザインしています。

4月オープンに先駆けて3月7日8日に柿落とし公演が開催されます。

【本件に関するお問合せ・画像貸出しの連絡先】

株式会社しわく堂 担当：平宅 正人（ヘイタク マサト） 〒769-1501 香川県三豊市豊中町比地大1680-4
TEL：0875-23-6535 | E-mail：info@shiwakudo.com | HP：<https://shiwakudo.com/>

しわく堂のDIYサポートによる劇場づくり

しわく堂では、空間デザイン・設計監理のみならず、顧客の施設への愛着が生まれるきっかけづくりとして、空間づくりへの参加をDIYサポートを通して積極的に進めています。

本PJにおいても、街に根付き、親しまれる場を目指して、運営者・劇団員・支援者らと共同で塗装やタイル貼りなどの仕上げ工事の一部をDIYで仕上げました。



香川県在住のクレヨン画家・イラストレーター うにのれおな氏による キャラクターロゴ

香川県のイラストレーター「うにのれおな」氏が制作を手掛けました。カメレオンを象徴する緑から青・紫・ピンク・赤・オレンジへと移ろう配色は、演劇の「変化・変身」と、子どもたちの未来への希望を象徴しています。地域クリエイターとの協働による文化発信モデルです。

わしは渋沢栄一だ

柿落とし公演は「一万円おじさん」

2026年3月7日・8日 こけら落とし公演を開演します。渋沢栄一の思想を現代若者に照らし、経営者を強くする人間ドラマです。本公演のメインビジュアル作成もしわく堂が手掛けています。

公演概要

イベント会社で働くカナコは、忙しさに追われ夢を見失い愚痴ばかり。ある日、公園で缶チューハイ片手に「一万円欲しいなあ」とつぶやく。すると「一万円が欲しいか」と声がし、目の前に浮浪者風のおじさんがあらわれこう言った。「わしは渋沢栄一だ」 仕事・お金・生き方についての奇妙な議論の始まり。

チケット購入はこちら

高松公演 <https://peatix.com/event/4761790>

大阪公演 <https://ozisan-osaka.peatix.com/view>



クラウドファンディングに挑戦中

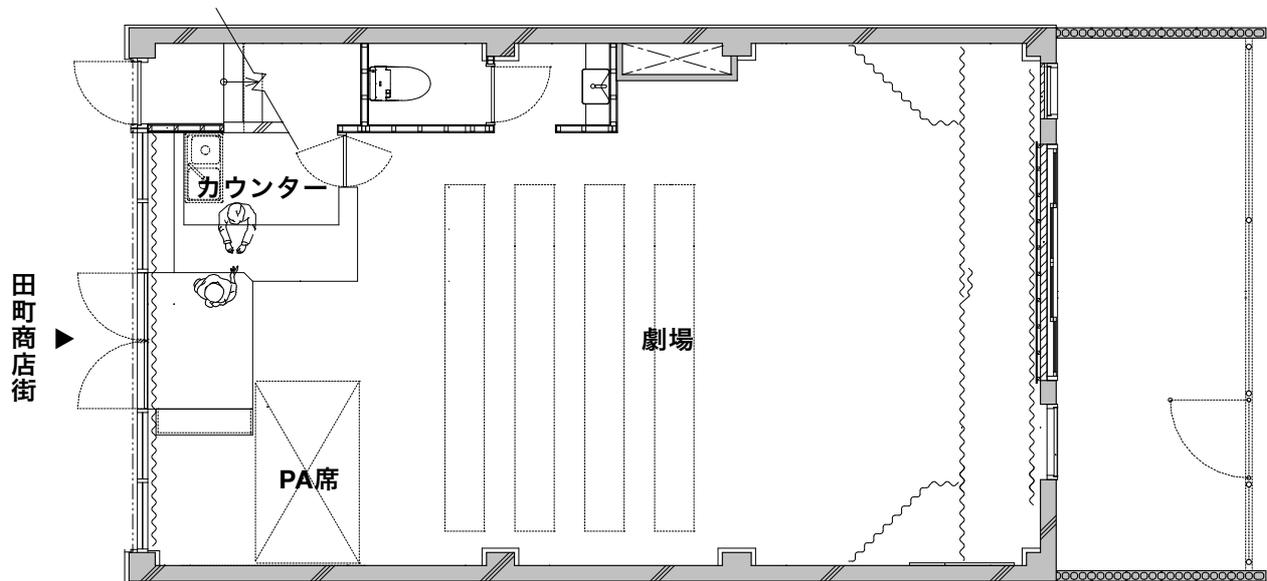
『派手じゃないけど必要と思った。想像力と出会える「絵本の劇場」を高松田町商店街に』

本PJは2026年1月より、CAMPFIREにてクラウドファンディングによる資金調達を実施中です。支援の輪は既に130人、総額226万を超えており、PJに対する期待の高さがうかがえます。

<https://camp-fire.jp/projects/912884/view>



PLAN



OUTLINE

施設名称	絵本の劇場 カメレオン	運営	株式会社 アートフィット
開業日	2026年4月予定	設計監理	株式会社 しわく堂 一級建築士事務所
所在地	香川県高松市田町7-3	施工	株式会社 彩工舎
構造規模	66.54㎡	ロゴデザイン	うにのれおな
施設内容	客席：約40席		

株式会社しわく堂

暮らしの中の「あったらいいな」を発見・提供する“暮しづくりカンパニー”として、建築設計監理・空間デザインコンサルティングを主軸に、商品企画からCI、VI制作、広告戦略立案などを総合的に手がける建築設計事務所です。自社事業として、拠点三豊市において「子育てをもっと楽しく」をコンセプトとした親子カフェ「寝転がれるお座敷ブッフェ おむすび座」の運営するほか、三豊・観音寺の民間企業を中心とした22社が共同出資をして運営する一度入ったら卒業できない市民大学「瀬戸内 暮らしの大学」に参画しています。